

本校の教育目標：◎考える子○助け合う子○元気な子（◎本年度の重点目標）



六小だより

令和3年2月24日
東久留米市立第六小学校
学校評価号
校長 内田 かほ里

【TEL】042-471-5370 【学校HP】<http://members2.jcom.home.ne.jp/dai6-e/>

令和2年度 第六小学校 学校評価の結果について

校長 内田 かほ里

日差しにもようやく春の訪れを感じるころとなりました。保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、11月に実施いたしました本校の教育に関するアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。中面をご覧ください。保護者の皆様からの回収率は、53.1%となりました。アンケートの結果やご意見を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かして参りたいと考えています。

さて、数年前の研修会で「子供の生活時間・学校と家庭（小学生）」（全国学校安全教育研究会調査）という話を拝聴しました。

Q：子供が一年間で起きている時間のうち、学校にいる時間はどのくらいの割合でしょうか。

- ①30% ②50% ③70%

○午前7時に起床し、午後10時に就寝したと仮定したときの一日の生活時間→15時間

一年間、昼間起きている時間 $15時間 \times 365日 = 5,475時間$

○午前8時30分に登校し、午後3時30分に下校すると仮定したときの在校時間→7時間

一年間、学校で生活している時間 $7時間 \times 208日 = 1,456時間$

上記の時間を基に計算をしていくと、正解は①です。子供が一年間で起きている時間のうち、学校にいる時間は30%です。言い換えれば、子供が一年間で起きている時間のうち約70%は、家庭や地域で過ごしているということになります。

今年度から新学習指導要領が完全実施となりました。新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱が示されています。これは、社会の激しい変化の中で、何が重要であるかを主体的に判断できること、多様な人々と協働することができること、新たな問題の発見・解決につなげることができることという、今後の社会において求められる力から示されました。

この新しい時代に必要となる資質・能力として、児童一人一人が「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の力は、学校だけでは身に付きません。ご家庭や地域の力が必要となります。ぜひ、学校評価をご一読いただき、学校と家庭と地域のさらなる連携のもと、「次代を生き抜く力を身に付けた児童」の育成を図っていきましょう。

なお、児童、保護者のすべての評価項目、学校関係者による評価につきましては、ホームページに掲載しています。合わせてご一読ください。